

## Jリーグクラブの現状と課題

日本のプロサッカーリーグのことを「Jリーグ」という。Jリーグは1993年に10クラブで開催された。現在ではJリーグディビジョン1（J1）に18チーム、J2リーグに22チーム、J3リーグに18チームの合計58クラブがJリーグに加盟している。そんな、Jリーグは100年後に「観る」「する」「参加する」スポーツを通して世代を超えた触れ合いの輪を広げることが目標にした「Jリーグ100年構想」を掲げている。そんなJリーグにはまだまだ課題が山積みである。過去には様々な、失敗もあった。

過去には横浜フリューゲルスが消滅が大きな失敗例として挙げられる。建前としては合併となっているがベースとなる横浜マリノスに吸収合併されて横浜フリューゲルスは消滅してしまったというのが現実だ。この出来事はJリーグ最大の事件として語り継がれている。現在ではサガン鳥栖や東京ヴェルディが経営難で苦しんでいる。

このようにJリーグは「100年構想」とはかけ離れた過去や現在の赤字経営まで様々な問題を抱えている。やはりJリーグはプロ野球と比べるとまだまだ知名度が低い。まずは過去の失敗や現状と向き合い、小さなことから改善していく必要がある。